

## 安全運転を呼びかけ

札幌協が交通安全街頭啓発

交通安全関係団体と連携し



ライパーに、手旗を振って安全運転を訴えた写真。

札幌協は毎年、工事着工期の六月と追い込み期の十月に交通安全街頭啓発を実施している。ことしは白

さつ。「地域の皆さんと一緒に頑張って啓蒙活動に取り組んでいくことが大事だ」と、協働による活動の意義を訴えた。

続いて、白石警察署の仁杉芳則交通第一課長が「活動で事故の減少につながっている」と述べ、感謝の意を表した。

このあと、一行は街頭啓発のため市道南郷通と道道札幌環状線の交差点に移動。道道札幌環状線の歩道で、交通安全旗を持ってスピードダウンを呼びかけた。

なお、札幌協では工事追い込み期の秋の街頭啓発を十月中旬に豊平区で予定。札幌ドーム前の国道三十六号線沿い月寒東一条十二丁目〜二十丁目までの区間で活動を予定している。

一般社団法人札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は三日、市道南郷通と交差する道道札幌環状線の白石区南郷通一丁目北で交通安全街頭啓発を実施した。地域の交通安全関係団体と連携して行われたもので、協会から百二人が参加。道行くド

石区連合町内会、白石区交通安全実践会など十六団体と連携して取り組むこととなった。会員企業四十九社から百二人が参加した。当日は活動場所の近くにある南郷丘公園で出発式が開かれ、交通安全対策委員会の竹田邦治委員長があい

## ドライバーに安全要請

札幌建協 白石区・環状通で街頭啓発



走行車両に交通安全を訴えた

札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は3日、札幌市白石区内の環状通沿いで交通安全の街頭啓発に取り組んだ。会員企業49社から102人が参加し、行業シズンに向け安全運転を促した。

建設産業交通事故防止総ぐるみ運動の一環と位置付け、年度ごとに実施区を変えて活動を展開。2014年度は東区と手稲区、こしは白石区のほか、秋には豊平区で予

定している。

今回は白石区(可児敏章区長)が主催する大型街頭啓発に参加。事前に開いた独自の出發式では、竹田邦治交通安全対策委員長が道内建設業では15年度に入り既に交通死亡事故が起きているこ

とに触れ、「交通安全運動にまだまだ取り組まなくてはならない。ドライバー一人一人に安全運転してもらえよう訴えて」と呼び掛けた。

その後環状通に移動。走行車両のドライバーに対して、旗を持った全員で安全運転を訴えた。